

森町地方創生・総合戦略有識者委員会(第2回) 質問・意見に対する回答一覧表

人口ビジョン意見対応表

着色部分は、ビジョン及び戦略を修正した回答になります

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
1	P1	序章 「背景・目的」と「人口ビジョン及び総合戦略について」	内容がかぶり過ぎ	「背景・目的」は、これまでの経緯と第2期総合戦略作成の必要性、「人口ビジョン及び総合戦略について」では国や県の動向とこれらを踏まえた計画とすることを書き分けました。
2	P2	(1) 文中	目指すべき将来の方向を示し →目指すべき将来の方向性を示し	ご指摘を踏まえ、変更しました。
3	P3	森町の概況	人口の推移を見ると5年間で約 1,000 人の人口減少があり、年齢分布でも生産年齢人口が顕著に減少する予測をされている。少子高齢化社会となり税収の減少、社会福祉費の増大など若者の流失が心配される。新東名IC周辺の立地を活かし企業誘致が急務とされる。荒廃農地の利活用や住宅地の造成により定住者を増やしていくことが重要ではないかと感じる。森町から出ていった人が戻って来なくなる町、住みたい町づくりを期待する。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。
4	P4 P5	外国人	外国人が毎年増加しており、かつ20代を中心とする若い世代の転入者が多い。 ⇒本ビジョンであまり触れていないが、若年層の拡大のためには重要な規模なので、意識調査など掘り下げて、更なる拡大定着を図ってはどうか。	若年層の転出入の状況等について調査・分析を継続し、施策につなげていきたいと考えます。
5	P5	②年齢別社会増減	子育て世代の流入が多く見られるが、効果的と思われる施策や、その要因についてどのように考えるか。	現状特に効果的な具体施策があるわけではありませんが、森町出身の方が婚姻後、一度町外に出て、住居を構える際に世帯ごと転入してきているものと推測されます。 婚姻時に町内にとどまっていただくように、また婚姻を機に森町に転入していただくように、新たな経済的支援事業を令和3年度から実施する予定です。
6	P5 P6	転出	全国の大学進学率が50%を超えるなか、多くの学生が親元を離れ、その後Uターンしないで就職時に転出していることがうかがわれる。 ⇒この年代の転出減少は避けられない	ご指摘のとおりです。総合戦略の基本目標4(2)③町外就学者等のUターン促進「Uターンに関する事業の創設と推進」において、学生が卒業後に森町に戻ってくるような事業を検討していきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
7	P5 P10 P11 P12 P13	②年齢別社会増減 (6)出生率 (7)結婚	①保育需要が高いため、子供を連れた子育て世代の転入が増加している(多い)。 ②町内で結婚後、町外転出の傾向がある。 ③20代出生率が特に低い。 ⇒①～③より、安心・安全な保育環境・子育て環境という点を活かし、町内外の20代が町内で結婚したいと思えるようなPRの仕方については御検討されているか。また、結婚しても町内に住み続けたいと若者が思えるPRについても御検討をされているか。	婚姻時に町内にとどまっていただくように、また婚姻を機に森町に転入していただくように、新たな経済的支援事業を令和3年度から実施する予定です。 また、子育て環境の充実も必要と考えますので、保育の受け皿と連携して施策を進めていきます。
8	P6 P14	③転出理由「図表1-9」 (8)就労	男女ともに転出の第一の理由は「仕事」だが、就職に関するミスマッチについては、何か検討しているか。 また、“就きたい仕事”を町内に持つため、どのような施策展開や手立てを検討しているか。	町内に働く場所が少ないことが一因と推測されますが、それをもって一概にミスマッチであるとは考えていません。総合戦略の基本目標3(4)②企業誘致・新産業の創出を進め、サテライトオフィスや、ワーケーションなどをはじめ、さまざまなニーズに合うような施策を推進していきたいと考えます。
9	P6 P7 P8	全部	「住民の意識・希望に関する分析」に入れたほうが良いのでは。	P6～8は、転出、転入の動向分析の一部として記載していることから、このままの記載とさせていただきます。
10	P6 P7	森町からの転出理由、転入理由	図表1-9の転出理由について、各項目の詳細について知りたい。 就職・転職や結婚・離婚等は理由が明確だが、特に「周囲環境」「住宅都合」「その他」の内容が不明。転出を防ぐためにはこの部分をもう少し掘り下げていく必要がある。 同じく、図表1-12の転入理由についても最も多い「住宅都合」や「その他」の詳細を知りたい。「住宅都合」や「その他」の理由になっている事例を伸ばしていくか、もしくはこのグラフに含まれていない部分を伸ばしていく必要がある。各項目の詳細の記載を希望。	当該データは静岡県の実施したアンケート調査を基に作成しており、「周囲環境」「住宅都合」の内容については、これ以上の回答がなく、深堀することが困難です。 また、その他の内容については、家族と再同居するといった内容の1件のみでした。 今後の転出入の要因の深堀方法については、今後、森町を転出入する人へアンケートを実施するなどの方法を検討しています。
11	P7	転入	森町外から住宅都合・同居近居での転入が多い。森町は公共交通機関・飲食店やスーパーが少なく生活が不便との声もあるが、自然環境が良い・農産物が豊富など生活環境が良いとの意見も聞かれる。 ⇒転入した人への意識の深堀を行い、住みたい町づくりなどの町政へ反映してはどうか。	今後、第2期戦略を推進する中で、転入した人をはじめ、さまざまな対象における意識調査も検討していきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
12	P10 P22	出生率	2013-2017年出生率が1.39に対し、2035 年以降に2.07に向上させるのは事実上困難である。 ⇒出生率を向上させる施策は否定しないが、出生率を向上させて人口減少を食い止めることは困難。	現状からすると目標はかなり高いレベルとは思いますが、国、県の目標でもあることから、目標達成に向けて出生率向上の施策とともに、移住定住施策も積極的に実施していきます。
13	P22	下段2行目	人口は約9,800人となり、第1期推計時(約10,000人)より、減少すると見込まれます。に変更した方が良いのでは。	ご指摘を踏まえ、変更しました。
14	P24	(4)行財政運営への影響	1行目の誤字について修正 (誤)公共施設やインフラの維持管理費への影響(負担増)が考えられえます。 (正)公共施設やインフラの維持管理費への影響(負担増)が考えられえます。	ご指摘を踏まえ、修正しました。
15	P24	分析・考察	大都市圏からの移住者や外国人の増加可能性による影響も考慮する必要があると思うが。	ご指摘を踏まえ「(5)外国人や大都市圏からの人口流入の影響」を追加しました。
16	P25	(1) 目指すべき将来の方向性	資料全体を通して、現状やそれに対する取組み等を把握でき、森町として、非常に適切に取り組んでおられると思った。森町はとても住みやすく、高齢者が安心して長生きできる環境であると感じた。 一方で、特に結婚した後に森町を転出してしまう人が多く見えるのが、残念な結果である。これは森町だけでなく、社会的な課題だと思うが、結婚や子育て世代の経済的・精神的支援をさらに手厚くしていかないと、この先の人口ビジョンは達成できないのかと感じた。 さらなる支援といっても、色々と取り組まれている中でなかなか難しいのかもしれないが、町内・町外も含めた色々な方々と一緒にアイデアや意見出しをおこない、少しでも良い施策を実施できればと思った。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。
17	P26	人口の将来展望	これまでも町としてさまざまな対策を行ってきたと思う。2060年までの人口減少を抑制するためにも、住みたくなる町づくりを考えていかななくてはならないと思う。 例えば町の中に行ってみたい商店が少ないと思うのでシャッターが閉まっている昔のお店に話題のお店を誘致したり何か新しい取組なども必要なのではないかと感じた。	ご意見として受け止め、総合戦略の基本目標3(4)において進めていきます。
18	P26	人口の将来展望	ファミリー向け、運動したい人向けの公園や住みたくなる町のための設備や整備も必要なのではと思った。 観光、大学や専門学校などは跡地の利用も考えてはどうか。	総合戦略の基本目標4(3)②協働を基礎とした行政運営「小中学校跡地利活用の充実」において検討を進めていきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
19	P26	人口の将来展望	全国的に高齢者が増えてくるので、若い人に限らず高齢者のための高級な施設を充実させることで雇用を生み出すという考え方もできるかもしれない。	民間主導によるところもあり、現在のところ具体的に高齢者のための高級な施設についての検討はありませんが、雇用の創出を含めた今後の施策の参考とさせていただきます。
20		全体への意見	人口減少は森町に限らず日本全体で避けられない課題。減少率を食い止めていく必要はあるが、町民や町政の努力や施策でクリアできる課題ではないと感じる。	ご意見として受け止め、人口減少を抑制していくため、町として可能な限りの人口減少対策を実施していきます。
21		全体への意見	出生率向上、若手の転出減少などは、対策を打ってもなかなか効果が出ないと思う。一方、外国人の転入者や子育て期の転入者は今後も増やせる余地があるとデータが示している。森町の特性をアピールして外国人・子育て世代の転入者を更に増加させ人口減少に少しも歯止めがかけられればと思う。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。
22		全体への意見	周りの知り合いに聞くと、森町を出る理由として「結婚」「長男以外だと町外にでる確率が高い(町外に家を買う・建てる)」「親との同居は考えていない」という方が多い。該当する方への支援を拡充してはどうか。	婚姻時に町内にとどまっていただくように、また婚姻を機に森町に転入していただくように、新たな経済的支援事業を令和3年度から実施する予定です。総合戦略の見直しを実施する中で、新たな事業についても検討していきます。

総合戦略意見対応表

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
1	P28	②第2期に向けた指標設定の課題	指標設定については、評価の際に明確に検証が可能となる指標の設定をお願いする。	今回設定している評価指標は、出典、根拠を明らかにした上で、年度ごとの見直しの際に検証可能な指標としています。
2	P29	1.「ひと」を育む> (1)子育て支援の充実> 待機児童ゼロの継続	令和元年度のKPI「待機児童ゼロの継続」の達成状況が○になっているが、2020年(令和2年)6月の県からの発表では、16人の待機児童が出ていた。 ゆうな保育園が開設されたが、現在は待機児童は解消されているのか。 「森町なら保育園に入れると思ったのに、入れなかった」という話がある。	令和元年度のKPIの数値については平成31年4月1日現在の待機児童について評価したものにになります。その時点では、ゼロでしたが、令和2年4月1日現在では、ご指摘のとおり16人となっています。 今後、基本目標3(2)①子育て世代の就業支援「待機児童ゼロ対策事業」を進め、待機児童の解消に努めます。
3	P27 P29 P30	第1期総合戦略の状況 (令和元年度)全体	この一覧には、貴町で掲げた基本目標に対して「達成」・「未達成」と判断した根拠(理由)を記入した方が分かりやすい。	ご指摘を踏まえ、評価方法、基準等を加筆しました。
4	P29 P30	第1期総合戦略の状況 (令和元年度)全体	第1期の振り返りで事業は達成できているが、基本目標の出生数と観光客数未達成となっている。一方、従業員数と健康高齢者数の基本指標は達成しているが、KPI未達項目が多くみられる。 総じて基本指標と施策 KPI、事業達成の相関関係が弱いのではないか。 第2期においては、基本指標施策 KPI事業の関連がより強いものとなってくれば良いし、5年間固定で施策・事業を固定するのではなく1年ごとに活動を振り返りブラッシュアップしていく柔軟な対応を望む。	第2期総合戦略においては、基本指標と施策のKPIとの関係性が高まるよう見直しをおこなっています。 また、年度ごとに事業、施策を振り返り、必要に応じて見直しを実施しながら進めていきます。
5	P30	4.「安心」をつくる (4)災害対策の推進	KPIである「住宅の耐震化率」が「×」の評価だが、原因はどのような点か。	KPIの実績値は総務省の「住宅・土地統計調査」(5年に1回)のデータを基にしています。令和元年度公表データでは、目標90.0%に対して、74.7%であったため未達成でした。令和2年8月公表データでは88.4%となり概ね目標に近づいた数値となっています。
6	P30	4.「安心」をつくる (4)災害対策の推進	「C 計画通りに進捗しなかった」事業が1つあるが、それはどのような事業か。 それに対する対策は。	住宅の地震対策の推進「家具の固定の推進」がCとなっています。予算見込に対し、固定箇所の実績が伸びなかったため、Cと判断しています。 大規模地震に備え、家具などの移動・転倒による被害を未然に防ぐため、制度を利用してもらうよう回覧、同報無線、SNSなどでPRに努めます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
7	P40	出生数	質問:2017 年 88人 2018年 103 人に対し 2019年(R1) 70 人と従来に対し極端に低い数値をBM として R7 目標値 90人 は目標が低すぎないか? また、人口推計 2025 年出生率 1.73との整合は?	令和3年2月現在、出生数が72人となり令和元年度を上回っています。2025年の出生率1.73の推計には届いておりませんが、目標値を100人に上方修正しました。年度ごとの見直しを実施する際に、状況を見て数値をさらに上方修正できるよう進めていきたいと考えています。
8	P41	①子育て支援体制の充実	①の項目について、子育てに必要な日用品の購入に使用できる商品券の配布や、オムツ購入費の助成等があると、結婚後も森町にいるメリットとなる。 上記のようなサポートはインパクトがあり、子育ての経済的な支援を必要としている方が多いので有効と考える。 ※栃木県日光市の「日光市すくすく赤ちゃん券支給事業」のような支援があると良い。	ご指摘を受け検討した結果、子育て支援の施策の中に「子育てに必要な新たな経済的支援の創設と推進」事業を組み込み検討を進めていきます。
9	P41	(1) 子育て支援の充実 KPI目標値 未就学児（6歳未満）数 （R7）800人	他のKPIの設定は良いと思うが、このKPI設定に違和感がある。出産は意向だけでなく経済面など外的要因が多いので、KPI目標値としての設定ではなく「目安」とするのが適切ではないか。	毎年度、目標値（KPI）の達成状況を確認しながら事業を実施していくことにより、効果的な実施方法を検討することができるなど、プラスの効果があると考えます。 ご指摘の目標値は、経済面などの支援も含めて森町で「持ちたい子どもの数を持てる」施策の実施や「結婚の意向がある人が結婚しやすくなる」などの施策及び子育て世代の転入者数の増加にむけた施策を実施することにより、アウトカム指標として達成することを目標にしていきます。
10	P41	(1) 子育て支援の充実	預かり保育に関しても、受け入れ体制が整っていることが分かれば「子どもが成長してからも安心して仕事に行けるな」とイメージすることができる。しかし、アピールするからには受け入れ数を増やす必要があると思う。	令和2年4月から保育の必要性の認定を受けた方は預かり保育料が無償になり、令和3年4月からは、森幼稚園、園田幼稚園において午後6時までの延長預かり保育を開始します。これにより、利用者の増加が見込まれるため、定員を増やしたところです。今後は関係各課連携しながら、未就学児への取り組みについてアピールし、ニーズにあった提供ができるよう努めていきます。
11	P41	(1) 子育て支援の充実	既に子育てや孫育てを終了したシニア世代の「余暇」と「寄付」を募り、子育てのモチベーションとともに、一緒に子育てできるコミュニティを設置する。	基本目標4(3)①コミュニティ活動の充実「三世代交流の推進」において研究を進めていきたいと考えます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
12	P41 P50	基本目標 1 「ひと」を育む (1) 子育て支援の充実 基本目標 3 「しごと」をつくる (1) 多様な人材の活躍の推進	現在、保育士の免許を取得していながらも保育士の仕事に就いていない潜在保育士が多く存在している(自分も含め)。千葉県松戸市のような保育士向け補助制度を取り入れることによって、保育士不足を補うことができると思う。預かり保育の指導員に対しても同様の補助があれば、指導員が増えて、預かり保育の受け入れ数も増やすことができるのではないかと。(受け入れ数を増やすだけでなく、保育の質の低下を防ぐためにも、資格保有者の数を確保することが重要)	現在、森町においては、保育士が不足している状況ではありませんが、ご意見のとおり、潜在保育士の活用による保育士確保は必要と考えます。補助制度については、松戸市同様の事業として、静岡県では修学資金、就職準備金、保育料等の貸付制度があり、森町では保育士の宿舍借り上げ支援事業に対する補助があります。さらなる支援については、預かり保育の指導員の確保を含め、今後の状況を見ながら検討していきたいと考えます。
13	P42	(2) 若い世代の結婚・出産に対する意欲喚起 KPI目標値 婚姻届受理数 (R7) 70件	他のKPIの設定は良いと思うが、このKPI設定に違和感がある。出産は意向だけでなく経済面など外的要因が多いので、KPI目標値としての設定ではなく「目安」とするのが適切ではないか。	毎年度、目標値 (KPI) の達成状況を確認しながら事業を実施していくことにより、効果的な実施方法を検討することができるなど、プラスの効果があると考えます。ご指摘の目標値は、経済面などの支援も含めて森町で「持ちたい子どもの数を持てる」施策の実施や「結婚の意向がある人が結婚しやすくなる」などの施策を実施することにより、アウトカム指標として達成することを目指していきます。
14	P45	基本目標 2 「魅力」と「交流」をつくる (施策の展開方向)	交流人口の増加と併せてになるが、町税収入が増加するような施策展開についても、今後の具体的な事業を企画・立案する際に検討してはどうか。	ご意見として受け止め、企業誘致などで税収入が増加するような施策を検討するとともに、ふるさと納税を含め町全体の収入が増加するような施策についても検討していきたいと考えます。
15	P46	(1) 「遠州の小京都」を核とした 交流・集客の創出・拡大 ①地域資源を活かした観光地 づくり・周遊促進 「自転車を活用した観光振興」	自転車の活用について、森町内のみで完結するサイクリングルートではなく、近隣市との広域連携を検討することでより魅力的なサイクリングルートになるのではないかと。	基本目標 2 (1) ①地域資源を活かした観光地づくり・周遊促進「自転車を活用した観光振興」を進める中で提案いただいた事業について検討していきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
16	P46	(1) 「遠州の小京都」を核とした 交流・集客の創出・拡大 ②地域の魅力発信・ プロモーション	レンタサイクル事業をさらに活性化するための施策をもっと具体的に複数検討していただきたい。 例: ① 自転車専用道路・サイクリングルートの整備 ② 自転車周遊マップの看板設置・レンタル場での配布 ③ 5kmほどのグルメルート・甘味体験ルート 15kmほどの眺望ルート・神社仏閣ルート 30km健脚ルートなど 来場者に応じた 多ルート設定 ④ 天竜浜名湖鉄道とコラボした自転車イベント など	基本目標 2 (1)①地域資源を活かした観光地づくり・周遊促進「自転車を活用した観光振興」を進める中で提案いただいた事業について検討していきます。
17	P48	(3) 地域ブランドの創造・ プロモーション ②地域の魅力発信・ プロモーション	「田舎の良さをPR」だけではなく、他の田舎との差別化や独自性をPRするシティプロモーションの展開を。	ご指摘を踏まえ、事業について内容がイメージしやすいよう（森町独自の魅力発信プロモーション）と加筆しました。
18	P48	(3) 地域ブランドの創造・ プロモーション ②地域の魅力発信・ プロモーション 自転車を活用した観光振興	ふるさと納税返礼品に森町の特色をアピールするような体験型の内容を追加してはどうか。 ふるさと納税に限らず、地域の魅力発信のために開催してもよい。 ① 森町 PR ガールとのお茶摘み体験 ② 森町観光自転車ツーリング ③ 森町の企業型農園での収穫体験 ④ 森町の森林でのキャンプ体験・林業体験 ⑤ カワセミ湖におけるカヤック体験	ふるさと納税の体験型返礼品については、アクティ森の陶芸体験や柿狩り等を掲載しています。提案いただいた事業につきましては、基本目標 2 (3)①地域イメージ・ブランド力の向上「魅力的なふるさと納税返礼品充実による地場産品のPR」等において検討していきます。
19	P48	①地域イメージ・ブランド力の向上	人口増加には様々な事業に関わる費用が必要。その費用をふるさと納税で補うために企業誘致が必要。	ご意見として受け止め、基本目標 3 (4)②企業誘致・新産業の創出において検討を進めていきます。
20	P48	①地域イメージ・ブランド力の向上	森町独自の特産物が弱い。PRも不足しているかもしれないが、とうもろこしであれば、農家を誘致して生産数を増やし、PRを強化(とうもろこしフェスの開催など)、ブランド力の向上に繋がらないか。	ご意見として受け止め、基本目標 2 (3)①地域イメージ・ブランド力の向上において検討を進めていきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
21	P48	①地域イメージ・ブランド力の向上	とうもろこしだけでは時期が限られるため、時期や天候などに左右されにくい返礼品の目玉商品があった方がよい。 ふるさと納税のランキングを見ると上位は1万円前後の食品が多いため、1万円から寄付できる森の姫牛があるとよい。	基本目標2(3)①地域イメージ・ブランド力の向上「魅力的なふるさと納税返礼品充実による地場産品のPR」において検討を進めていきます。1万円ですぐに寄付できる食品についても、森の姫牛をはじめ、より多く掲載できるよう進めていきます。
22	P48	②地域の魅力発信・プロモーション	新東名からのアクセスが良いこととアウトドアブームを受けて、アウトドア関連の強化（キャンプ場野菜栽培年契約など）	基本目標2(1)①地域資源を活かした観光地づくり・周遊促進において、検討を進めていきます。
23	P48	②地域の魅力発信・プロモーション	森町出身者で県外にいる人と情報交換を行い、森町における良いところと改善するところを提案してもらい課題について検討していく。	基本目標2(3)②地域の魅力発信・プロモーション「ふるさと交流会の実施」において、森町出身の首都圏在住者との情報交換を実施しています。今後森町の課題などについても提案を受けていくよう進めていきます。
24	P48	②地域の魅力発信・プロモーション	森町の自然豊かな環境や特産品農産物が多くあるが、意外と知られていない感じがする。	基本目標2(3)の中で幅広く検討していきます。
25	P48	②地域の魅力発信・プロモーション	特産農産物PRは生産者が参加し自らPRを行う。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。
26	P48	②地域の魅力発信・プロモーション	インターネットやSNSが普及する中で、新しいことに敏感な若い世代(高校生)の声を聴きフォロワー数を増やす情報発信が必要と思う。見た方に抽選でプレゼント進呈など。	基本目標3(1)①若者・女性・高齢者・障がい者・外国人等の活躍促進「町若手女性職員による情報発信、政策提案」における取組の中で、若い世代の目線からInstagramによる町の情報発信を進めています。Instagram上でフォトコンテストを実施し、入賞者には森町特産品のプレゼントを進呈しています。フォロワー増に向けて更なる研究を実施していきます。
27	P50	(1) 多様な人材の活躍の推進 重要業績評価指標(KPI) 「地域おこし協力隊員数」	協力隊員が、行政側の意図・目的に沿った活動をせず、行政との関係が芳しくないケースも散見される。委嘱した隊員が貴町のためにどのような活動をし、貴町の魅力発信等にどのような貢献をするのかという点については、貴町の考えと隊員の考えの間にミスマッチが生まれないような取組が求められるのではないか。	月に2回の打ち合わせの他、協力隊0Bによるヒアリング、アドバイスなどを行い、進捗管理やフォロー体制の充実に努めています。方向性の足並みを揃えるためにも、さらなるチェック及びサポート体制の確立を図っていきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
28	P51	(2) 働きやすさの向上 ①子育て世代への就業支援	「待機児童ゼロのまち」をアピールするということ、またそれに伴い、保育施設や預かり保育の、受け入れ数を増やすことを提案する。安心して子どもを産むために、保育サービスの充実を必要とする方が多くいた(図1-35)。近隣の市に住んでいる方々の移住定住の検討材料になるのでは。	基本目標3(2)①子育て世代への就業支援「待機児童ゼロ対策事業」について、まずは待機児童ゼロに向けて取り組み、達成後、事業を見直す中でアピールに向けても検討していきます。
29	P51	重要業績評価指数(KPI)「待機児童数」	女性視点では「産休・育休が取得しやすい」「職種の選択肢が多い」等のポイントも「働きやすさ」の指標としては重要。	指標を設定する際に、ご提案の内容についても検討しましたが、KPIとして毎年評価できる数値の設定が困難であったため、待機児童数をKPIとして設定しています。しかしながら、ご指摘の内容については、重要ととらえていますので、事業実施時に盛り込んでいけるよう前文に加筆しました。
30	P51	①子育て世代への就業支援	町内に立地している企業や事業所において、子育てと就業の両立が課題となっている。森町内の保育サービスは森町内在住者が優先されるため、町外から通勤している社員は企業近隣の森町内での保育サービスが受け難い状態である。 森町内の企業や事業者における企業主導の保育事業を積極的に支援促進することにより、働きやすい職場環境構築や業務継続によるスキル向上など企業の存在価値を高めることになる。また、森町内の保育サービス活用者はその後の森町定住につながる可能性もでてくることから人口減少対策にもなる。企業主導の保育事業の支援を望む。	基本目標3(2)①子育て世代への就業支援「多様な保育サービスの提供」において、企業主導型保育事業について町としてどのような支援が可能か町内企業と協力しながら調査を進めていきたいと考えます。
31	P53	全体への意見	アウトレットやイオンモールなどの大型ショッピングモールがあると町民の生活が充実する。 職場が増えて観光客も増えて外からの流入も増加させることが可能になる。商業施設の誘致も良い。	基本目標3(4)②企業誘致・新産業の創出において幅広く研究していきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
32	P55	全体への意見	高齢者が安心して過ごせることをPRするには浜松市北区にある「ゆうゆうの里」、「エデンの園」のような高級老人ホームの誘致と併せて入所者への補助金等のサービスを付加することも必要と考える。	民間主導によるところもあり、現在のところ具体的に、高齢者のための高級老人ホーム等の検討はありませんが、高齢者本人の尊厳が保持され、住み慣れた地域(自宅)で生活を継続できるよう、住民・行政が協働し、支えないながら暮らしていける「地域共生社会」の実現に向けて、取組を進めていきます。
33	P56	全体への意見	高齢者に向けた、バス・タクシー助成があると良い。買い物できる場所が近くにない、足もない高齢者にとっては住みづらい。長泉町のような助成があると良い。	令和元年6月から町内の75歳以上または65歳以上の免許返納者に対して、町営バス、タクシー、天浜線の利用券購入の際、3,000円を上限に助成する事業を実施しております。様々な手段でPRをしていますが、さらなるPRに努めます。
34	P56	全体への意見	小中学校の廃校舎の活用は、他の市町も同様の環境にあり施設や手法が競合することが想定される。スピード感を持った取組を期待。	基本目標4(3)②協働を基礎とした行政運営「小中学校跡地利活用の充実」において進めていきます。小中学校利活用検討委員会にて議論をしながら、令和4年には、利活用の方向性を示していくとともに、前倒しできるところは、スピード感を考慮して取り組みたいと考えます。
35	P57	Uターンの促進	森町町内中学生を対象に町内企業の見学会を実施し、町外就学者が地元へUターンしても働き口があることを記憶にとどめてもらう。賛同いただければ、ヤマハモーターエレクトロニクスは対応する。	魅力あるご提案をいただきありがとうございます。基本目標4(2)③町外就学者等のUターン促進「Uターンに関する事業の創設と推進」において、実施に向けて検討していきます。
36	P57	総合戦略について	地域住民としてこの町(地区)をどうしたいかを考えていく。	基本目標4(3)②協働を基礎とした行政運営に記載がある広聴・広報活動として「森町を語る会」を毎年実施し、町3役が出席する中で地域住民の方と直接意見交換をしています。住民意見をまちづくりに反映させる施策として、引き続き実施していきます。
37	P57	全体への意見	(町外在住者として個人的な感想だが) お祭りや自治会、子ども会等での町民の連帯感の深さを強く感じる。若年層や外国人、町外出身者にとっては、わずらわしさや定住のネックになっている面もある。多様性を尊重した町政の運営を期待。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
38	P57	全体への意見	田舎特有の排他的・閉鎖的な雰囲気だが、これを理由に町外へ出たいと思っている方は、実は多いのではないかと個人的には思っている。人と交流しなくても後ろ指を差されない雰囲気づくりや、様々な事情や要望を受け入れられる器があると「住みたい町」になるのではないかな。 外国人人口も増えていることから、もっと森町に転入する人が増えて多様性のある町になったら素敵だと思う。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。
39	P58	防災資機材	備蓄食料や発電機・寝具・浄水器などの資機材を森町・自治会・企業・事業所で共有化し、災害発生時に相互補助できるようにしていく。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。
40	P58	④国土強靱化・防災減災対策	国土強靱化計画の推進をお願いする。	ご意見として受け止め、基本目標 4 (4)④国土強靱化、防災減災対策「国土強靱化計画の策定と推進」において、進めていきます。
41	P58	(4)災害対策の推進	「新しい生活様式を取り入れた自然災害への備え」を求められていると思うが、貴町として具体的にどのような取組を想定しているか。	避難所運営では、新しい生活様式に対応した「避難所運営ガイドライン」を策定し町内会の代表者に対し説明会を実施しました。今後は、出前講座等で住民に対しても広く周知していきます。
42	P58	重要業績評価指数(KPI)「緊急輸送路等沿いの危険なブロック塀の耐震改修等実施率」	基準値46.0%⇒目標値70.0%と大幅な目標設定だが、目標値の算定根拠やそれに向けての取組内容は。	町が把握している緊急輸送路沿いの既存ブロック塀については57箇所あり、令和2年12月現在26箇所対応済みで46%となっています。 従来のブロック塀等の撤去・改善事業の補助制度の見直し及び制度拡充を令和2年度から実施しています。目標に近づくよう、今後一層の事業推進を図っていきます。
43		全体への意見	1万人を割り込むような最悪の減少率を想定した上で持続可能な地域社会を見据え、森町独自の資源を生かした特色のある戦略の策定を期待する。	総合戦略については、時代や社会情勢を俯瞰し、年度ごとに見直しを実施します。見直しを行う中で、森町ならではの総合戦略としていきたいと考えています。
44		全体への意見	個別のKPIはバランスが取れていて、積極的な目標が多く、是非とも実現に向けて、多くの課題に取り組んでいってもらいたいと思う。地域の金融機関として、同じ目線で連携できる部分については精力的に協力していきたい。	ご意見ありがとうございます。 事業実施の際に連携可能なものについては是非ご協力をお願いします。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
45		全体への意見	産業面の課題においては、民間企業との連携を積極的に行っていくべきである。当行はSDGsや地方創生を重視した経営にシフトしてきており、森町の課題解決に積極に関与していきたい。結果的に民間企業のスピード感や採算を重視した観点で課題解決に向かう可能性が広がっていくと思っている。	ご意見ありがとうございます。 事業実施の際に連携可能なものについては是非ご協力をお願いします。
46		全体への意見	町民に広く分かりやすい大きな目玉となるプロジェクトがあると良い。 (例えば)・幹線道路の早期整備によるロードサイド大型店の誘致・リモートワーク環境の整備 当面は短期的な都市部からのワーケーション人口の増加。最終的には移住者増加へ向けた取組。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。
47		全体への意見	第2期森町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し森町を活性化することは必要不可欠なことであり、行政の役割として重要である。しかし超高齢化の進行と人口減少を抑えるためには、町だけでなくこの総合戦略を町民に認識してもらい、協働で取り組めるかが鍵となる。 森町在住の職員に「創生総合戦略」に対する認識を確認したところ、認識していなかった。そこで「創生総合戦略」を知ってもらうことも含めて成人町民全員(もしくは高校生以上)に、この取組を知っているか否かのアンケート調査を実施してはどうだろうか。 紙だけでなくSNSやライン登録を通じてアンケートを実施し、総合戦略や地方活性化の取組を認知してもらうことが重要と考える。 特に今若者の認知度が重要で、森町に関心をもってもらえるようSNSや公式ラインの登録を推進し、登録者にサービスを付加し拡散してもらいやすい仕掛けを考えた方が良いのではないか。	第2期総合戦略を推進する中で、多様な対象者に向けてのアンケート及び手法についても検討していきます。
48		全体への意見	森掛インター付近の工業団地の誘致と従業員向けの分譲地、袋井の山梨地区では多くの分譲地により人口が増加していることを踏まえ、森町にも山梨地区と隣接する飯田地区への分譲地を増やすことで人口増加、出生率の増加のシナジー効果に繋がるのではないかと考える。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
49		全体への意見	上記は私個人の意見だが、現実的にさまざまなハードルが高く難しいと思う。森町 が今後も発展していくためには森町の田舎の良さだけではダメで、より若者が居住したくなるような良さも出していく必要がある。行政だけでなく町全体での考動力が必要ではないかと考える。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。
50		全体への意見	町外に住む同世代(30代前半)の友人数名に「どうしたら森町に住みたくなるか?」を聞いたところ、下記の意見があった。 ①森町に住みたいと思うような強い理由がほしい。子育て支援を充実させてほしい(県外在住) ②職場が森町にあれば住みたい(近隣市在住) ③住むにしても観光にしても森町でなければいけない理由が少ない(県外在住) ④おしゃれなカフェなど、余暇を楽しめるような場所がほしい(県外在住) ⑤老後考えたときに不安な為、徒歩圏内に買い物ができる場所がほしい(県外在住) ⑥交通の便をもっとよくしてほしい。老後が不安。(県外在住) ⑦田舎特有の排他的、閉鎖的な雰囲気無くしてほしい(元森町民、県外在住)	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。 ※左記の内容の一部については、個別意見として回答をさせていただきます。
51		全体への意見	東名袋井ICから新東名森掛川ICへの幹線道路で整備。	基本目標3(4)の中で幅広く検討していきます。
52		全体への意見	地域のしきたりにとらわれない居住地や企業誘致と連携した住宅団地の造成。	ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。
53		全体への意見	県外に出た若者が安定して暮らしていける雇用と住環境整備。	基本目標4(2)③町外就学者等のUターン促進「Uターンに関する事業の創設と推進」において、学生が卒業後に森町に戻ってくるような事業を検討していきます。
54		全体への意見	子育てしやすい安心・安全な環境整備	基本目標1の中で幅広く検討していきます。
55		全体への意見	事業と担当課もわかりやすく書かれていてとても良い。この総合戦略に期待する。	ご意見ありがとうございます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
56		新規事業提案	幼稚園や学校周辺の空き家等をリノベーションして、専用施設を設置します。1週間～1ヵ月程度@1泊1,000円程度で提供し、実際移住した際の生活環境を実感してもらう。 気に入れば、その施設での移住も可能。以前、鹿児島あたりの離島で、このような施設の成功をメディアで見た記憶がある。もしかすると、子育て期間に限定してだけでも、移住してもらう可能性はあるのかも。 その後、町外に引っ越しても、またシニア世代になったら、森町に戻ってくるかもしれない、その際、育った子が自分が子育て世代になったときに、戻ってくる可能性も。	ご意見として受け止め、基本目標4(2)②移住・定住促進において幅広く研究してまいります。
57		全体への意見	森町としての発信力を高めてほしい。外の人間からするとこんなに魅力があるのにアピールしないのはもったいない。	ご意見として受け止め、基本目標2(3)②地域の魅力発信・プロモーションにて幅広く進めていきます。
58		全体への意見	SNSやLINE@は毎日稼働することに意味がある。(同じことでも良いので何度でも発信し続ける必要がある)	基本目標4(4)③「HP・SNS等を活用した情報発信」において、森町LINE公式アカウントを開設しました。できるだけ多くの情報発信に努めていきます。
59		全体への意見	素人の知識では限度があるので、プロや他の力を借りても良いと思う。	ご意見として受け止め、総合戦略を進めていく中で、必要に応じて協力をいただくよう検討していきます。
60		全体への意見	町づくり、町の活性化に5年～10年かかると分かっているのであれば、今、PRすべきは10年後に子育て世代となる高校生や学生に向けて発信していく必要がある。もっと若者の意見を素直に取り入れた方が良い。	第2期総合戦略の策定にあたり実施した、高校生アンケートの結果や高校生とのキャリア教育連携、中学生への出前講座など、さまざま機会を通して意見を伺い、施策に反映させていきたいと考えています。
61		全体への意見	当店のユーザーへ「森町のイメージ」を聞いた。 参考に意見を添付する。	貴重な意見の提供をいただきありがとうございました。参考とさせていただきます。 ※209件のご意見をいただきました。内容については省略させていただきます。

No.	箇所	項目	質問・意見	回答
62		全体への意見	<p>人口減少と高齢化時代に向けてどのような社会が構築されるのか想像し難い。</p> <p>今までのグローバル化社会も限界にきていると思う。それは資源の有限、地球環境の限界の問題、人口に使用する水の限界、日本経済にとって縮小経済にならざるをえない。特に一次産業においては顕著であると思う。</p> <p>グローバル経済から縮小経済に移行していく時に何が問題になっていくのか想像しがたい。</p>	<p>ご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>